



東京農業大学稲花小学校

校内のご紹介

この資料では、
「校内見学会」の見学ルートに沿って、
正門から順に、各教室や施設を紹介いたします。
当日は、教職員による説明等はありませんが、
ご了承ください。



**ここが、東京農業大学稲花小学校の正門です。
通常は施錠されており、警備員が常駐しています。**



通学メール送信システム「ツイタもん」のコイルが埋まっております、児童が通過すると、保護者に登下校メールが送信されます。



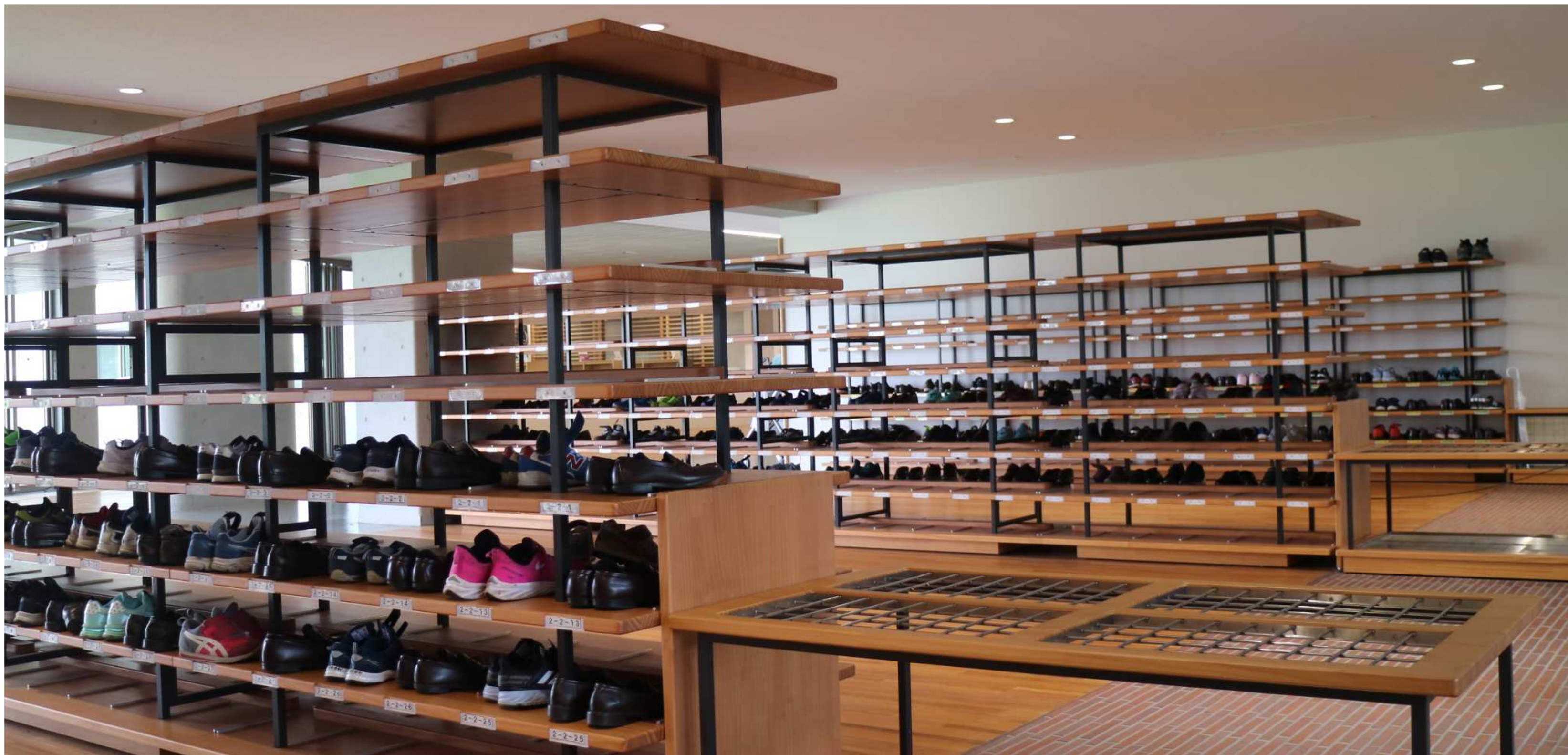
**校舎に沿って、玄関方面へ進みます。
フェンスの向こう側は、東京農業大学第一高等学校・中等部です。**



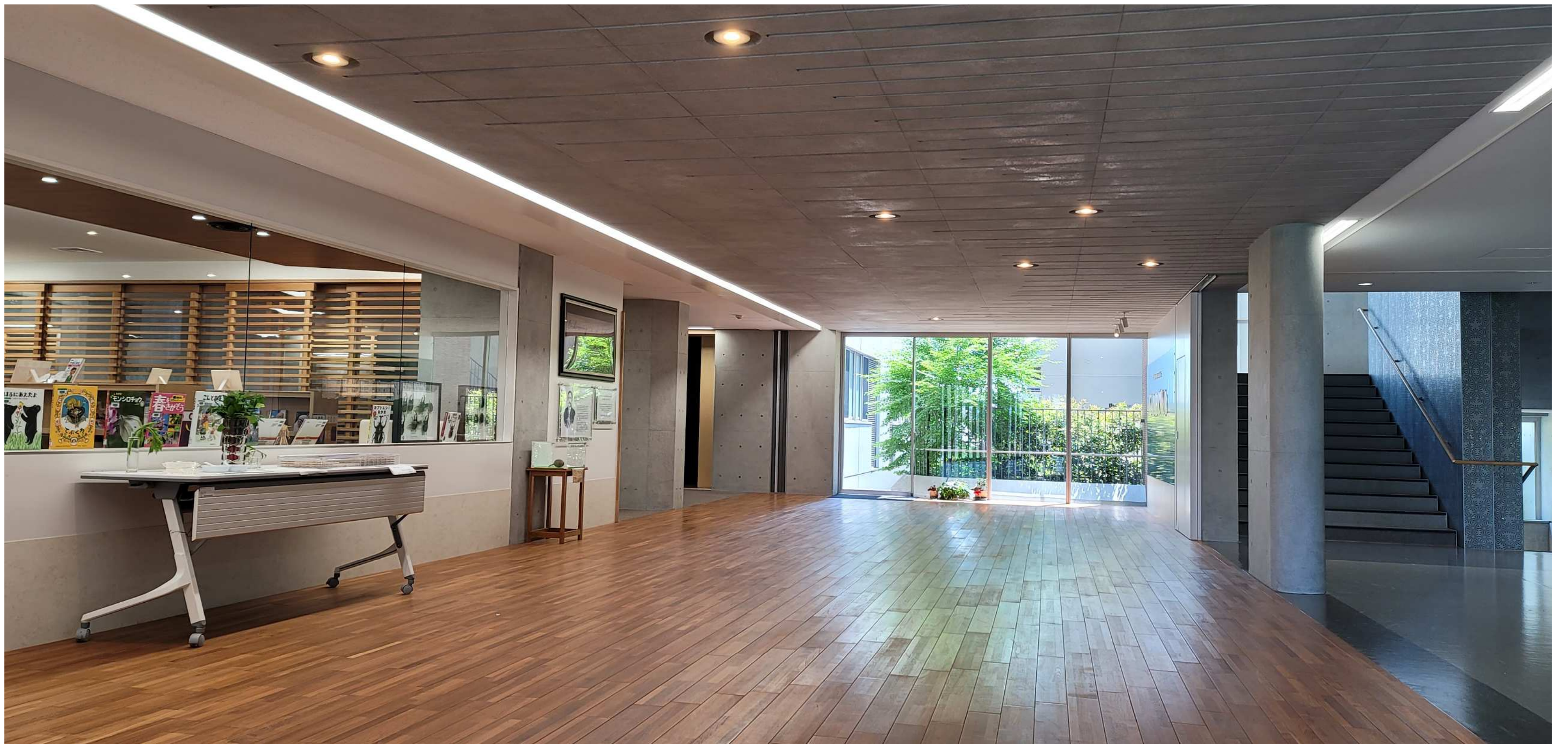
玄関前です。ここから校舎内に入ります。



**玄関には、オープンな靴棚が並んでいます。
死角がなく、全体を見通しやすい作りとなっています。**



**ここで室内履きに履き替えます。
見学会当日は、外靴は袋に入れて校内にお持ち込みください。**



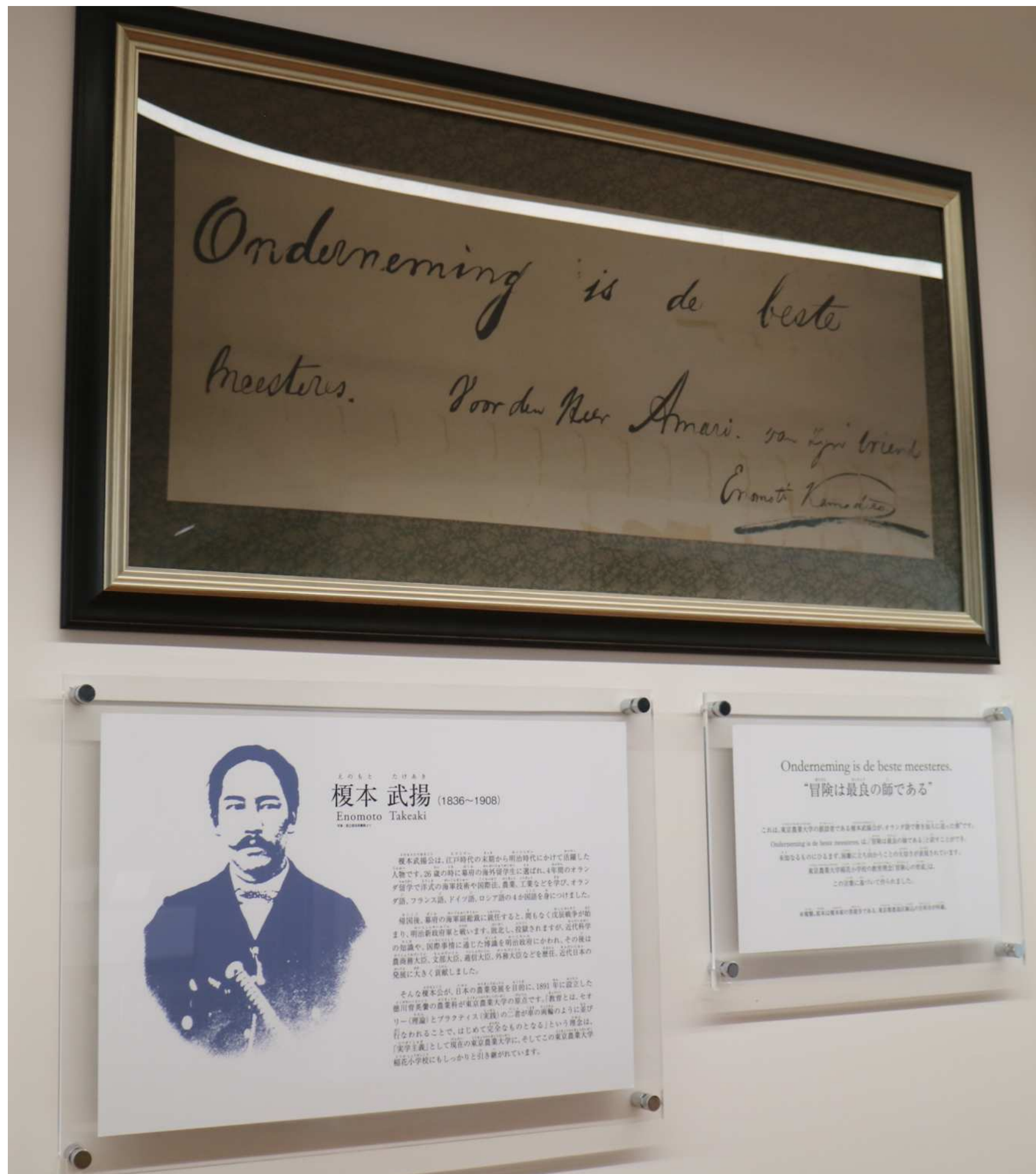
**受付を済ませ、右方向に進みます。
ホール左側のガラス窓の部屋が図書室、その奥が体育館です。**



図書室のガラス窓の前は、ちょっとした展示コーナーです。
この日は世界中から集めた、様々なお米が紹介されていました。



めずらしい昆虫の標本は、東京農業大学の研究所から。
月替わりで、いろいろな昆虫標本が展示されます。



Onderneming is de beste
meesteres.
Voor den Heer Amari. van zijn vriend
Enomoto Takeaki



えのもと たけあき
榎本 武揚 (1836~1908)
Enomoto Takeaki

榎本武揚公は、江戸時代の末期から明治時代にかけて活躍した人物です。25歳の時に幕府の海外留学生に選ばれ、4年間のオランダ留学で洋式の海軍技術や国際法、農業、工業などを学び、オランダ語、フランス語、ドイツ語、ロシア語の4か国語を身につけました。

帰国後、幕府の海軍副総裁に就任すると、勇ましく戊辰戦争が起き、明治新政府と戦います。敗北し、投獄されますが、近代科学の知識や、国際事情に通じた博識を明治政府にかれ、その後は農商務大臣、文部大臣、逓信大臣、外務大臣などを歴任、近代日本の発展に大きく貢献しました。

そんな榎本公が、日本の農業発展を目的に、1891年に設立した徳川實業の農業科が東京農業大学の原点です。「教育とは、セオリー（理論）とプラクティス（実践）の二者が車の両輪のように並び行なわれることで、はじめて完全なものとなる」という理念は、「実学主義」として現在の東京農業大学に、そしてこの東京農業大学稲花小学校にもしっかりと引き継がれています。

Onderneming is de beste meesteres.
“冒険は最良の師である”

これは、東京農業大学の創設者である榎本武揚公が、オランダ留学中に書いた手紙です。Onderneming is de beste meesteres, 直訳は「冒険は最良の師である」と訳すことができます。本意は「冒険を通じて得た知識や経験が、人生の師となる」ということです。東京農業大学稲花小学校の校歌にもこの言葉が取り入れられています。

この言葉に思いをめぐらしてみませんか。

※複製、転写はご遠慮ください。東京農業大学稲花小学校の校歌にもこの言葉が取り入れられています。

そのとなりの柱には、
東京農業大学の生みの親、
榎本武揚公の紹介パネルと、
「冒険は最良の師である」の
オランダ語の書（複製）を
展示しています。



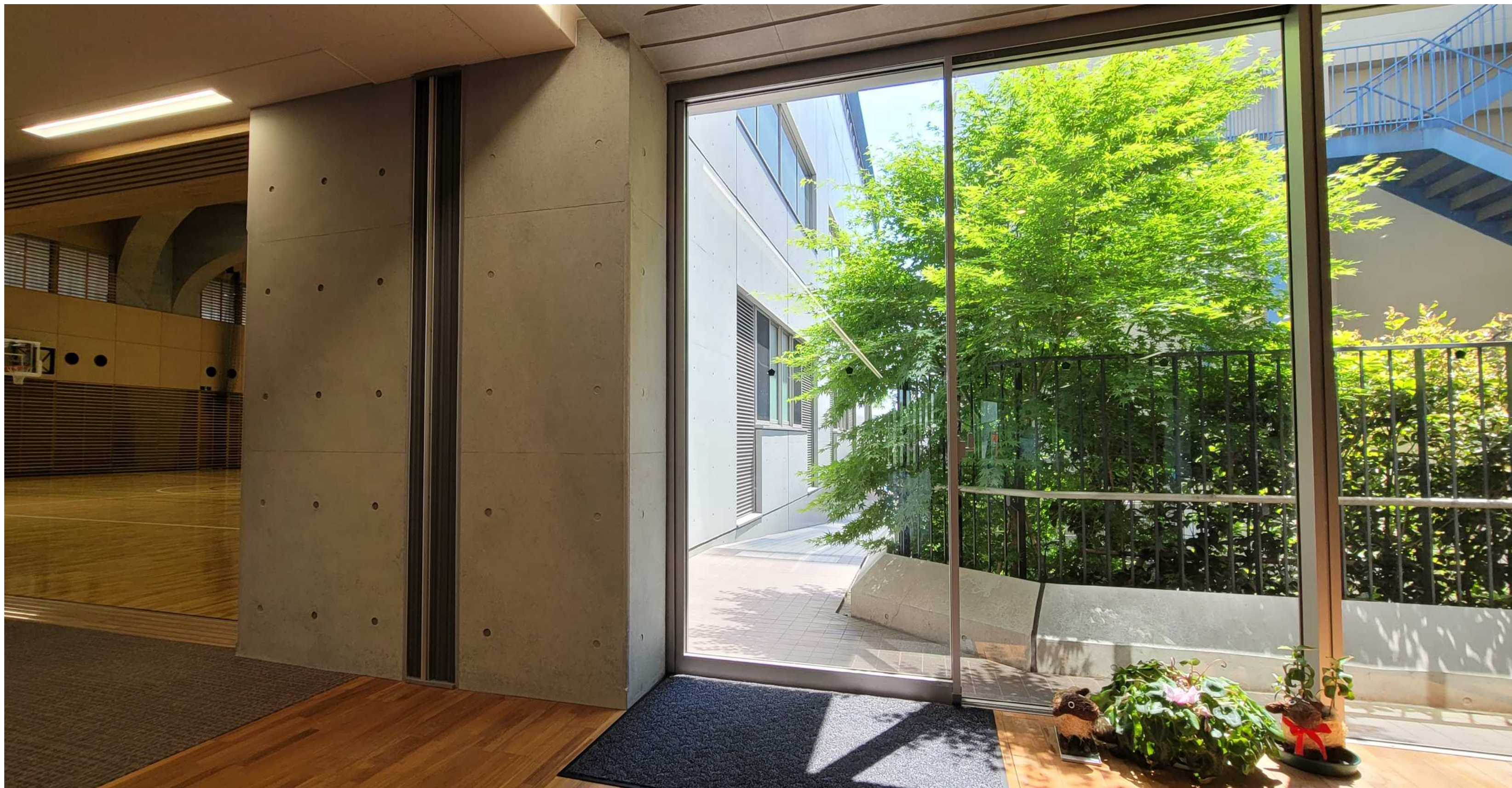
ホールの向かい側には、給食用のエレベーターと、水とお茶の自動販売機（交通系ICカード専用）が設置されています。



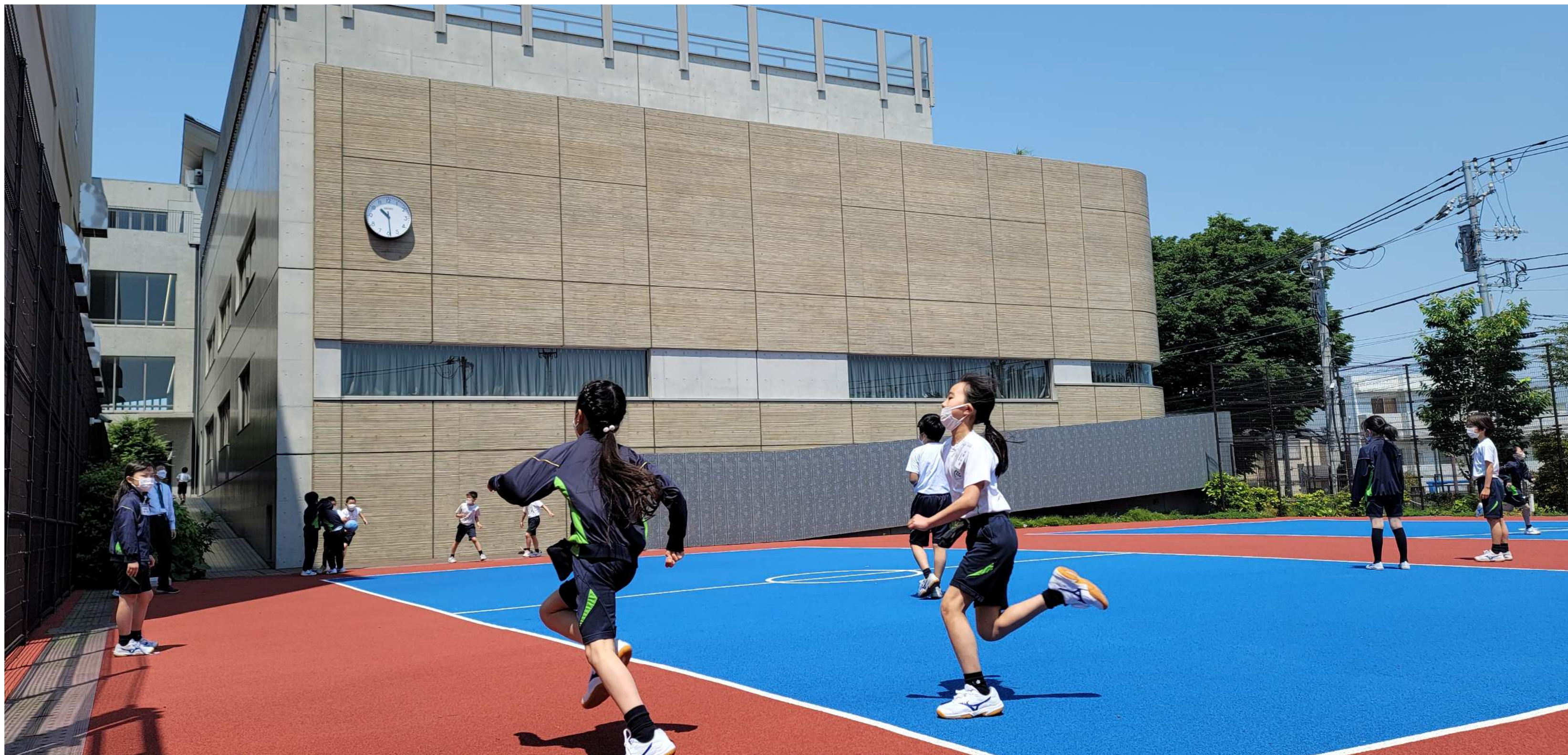
ホールの一角に設けられた掲示板。



春になると、
この掲示板の前に
ひな人形が飾られます。



掲示板のすぐ横に、サブグラウンドへの出入口があります。



出入口から、スロープ（写真左奥）を降りて行くサブグラウンドは、
休み時間にはにぎやかな声につつまれます。 **【見学コース外】**



図書室の中です。

まだ低・中学年向けの本が中心のため、本棚に余裕が見られます。



子どもたちに、特に読んでもらいたい本を、「農大稲花の50さつ」として、おすすめしています。



**こちらは体育館です。
冷暖房を完備しており、夏でも涼しい中で運動ができます。**



**屋上に設置されたプールを支えている、
アーチ型の梁（はり）の造形が特徴的です。**



**入学試験の際には、体育館が集合場所となり、説明等を行います。
時間帯によっては、そのまま保護者の控室にもなります。**



毎年春の入学式も、この体育館で実施されています。



校舎北側の階段から、2階に上がっていきます。



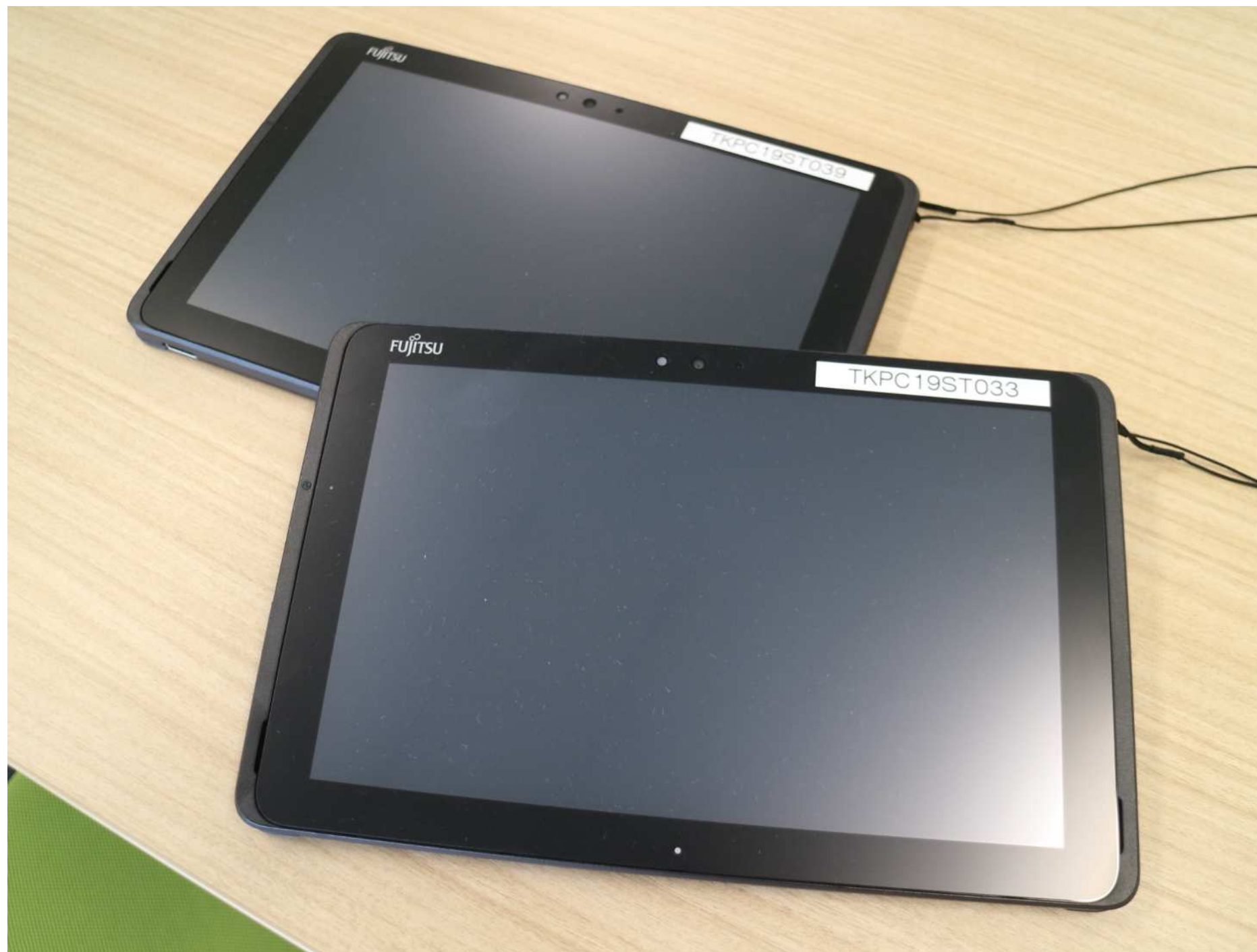
**2階に上がると、右手に図工室とコンピュータ室があります。
向かい側の窓からは、体育館を見下ろすことができます。**



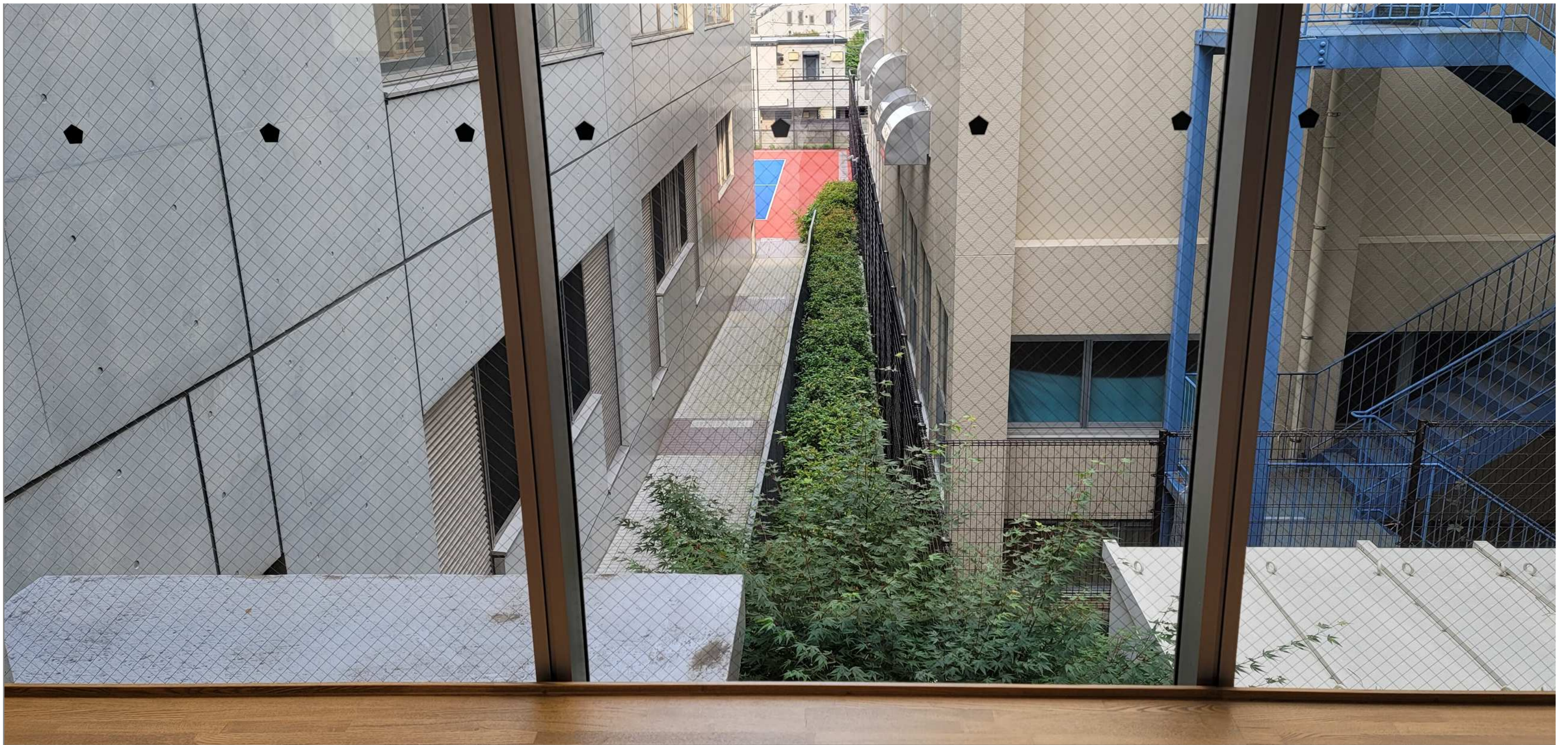
**図工室も電子黒板ですが、
角ばった机とイスは、昔から変わらないスタイルです。**



**図工室のとなりは、コンピュータ室です。
でも、パソコンが1台も見あたりませんか？**



**農大稲花小では、タブレットPCを使用しています。
校内はWi-Fi完備のため、どの教室にも持ち運び可能です。
そのため、コンピューター室には据え置きのパソコンがありません。**



2階ホールの東側の窓からは、右手に農大一中高の体育館と、サブグラウンドへ向かうスロープが見下ろせます。



**エレベーター横の非常扉の向こう側には、
隣接する農大一中高の校舎と、広い廊下が見えます。**



**トイレから西側は、普通教室のエリアです。
シンプルですっきりとした廊下が、東西方向に続きます。**



**2階には1・2年生、3階には3・4年生、
4階には5・6年生の普通教室が配置されています。**



**普通教室は、1クラス36人が学ぶ“ホームルーム”です。
正面には黒板ではなく、ホワイトボードが設置されています。**



ホワイトボードは、上部の短焦点プロジェクターとセットで、電子黒板として、映像を映し出して使用します。



電子黒板を使った授業風景です。

なお、感染防止対策のため、現在児童は前を向いて座っています。



多目的室の手前の階段を、4階まで上がります。



**4階まであがると、遠く、新宿の高層ビル群もよく見えます。
近隣に高い建物が無いこともあり、
4階よりも、もっと高い場所にいる印象を受けます。**



4階の廊下を東方向へ戻ります。



**4階の教室は、5、6年生用です。
児童が使用するのは来年から。まだ机もロッカーもありません。**



**入学試験の際、時間帯によっては、
体育館ではなく、この4階の普通教室が保護者の控室になります。**



4階のトイレは、当日は見学専用です。男女どちらのお手洗いも見学ができます。ご利用はできませんのでご注意ください。



4階は、ホール前の多目的室のみ、英語の授業で使用しています。英語は1クラスを2グループに分けての、少人数での授業です。



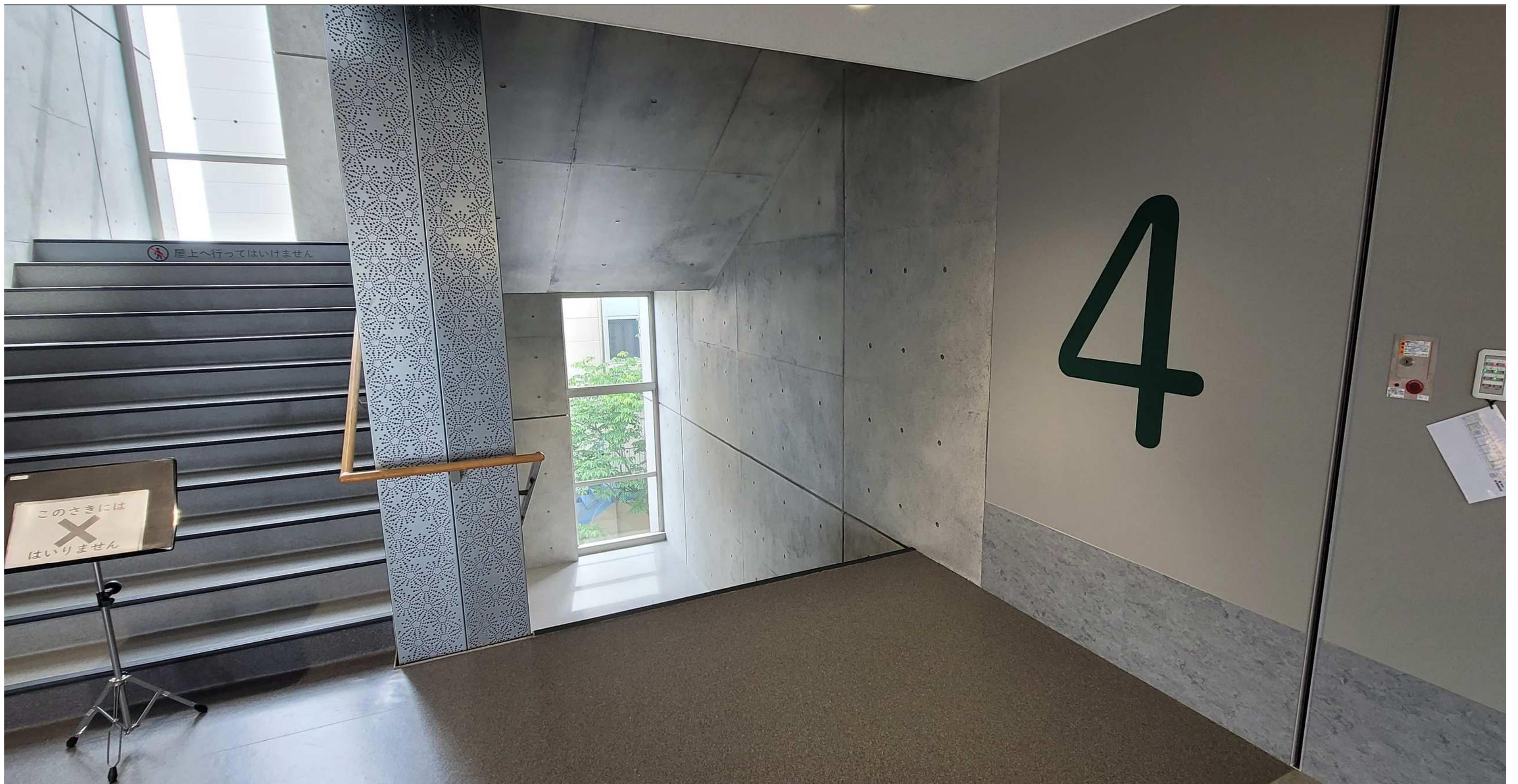
4階ホールの扉からは、プールへの連絡通路に出ることができます。



**プールは、25m × 6コースの標準的なサイズです。
屋上のため、敷地外からの視線もありません。**



**プールを使用するのは、夏の期間のみとなります。
屋根がないため、ラッシュガードの着用を可としています。**



ホールから、階段を下に降りて行きます。



**3階に降りると、右手に理科室があります。
すこしのぞいてみましょう。**



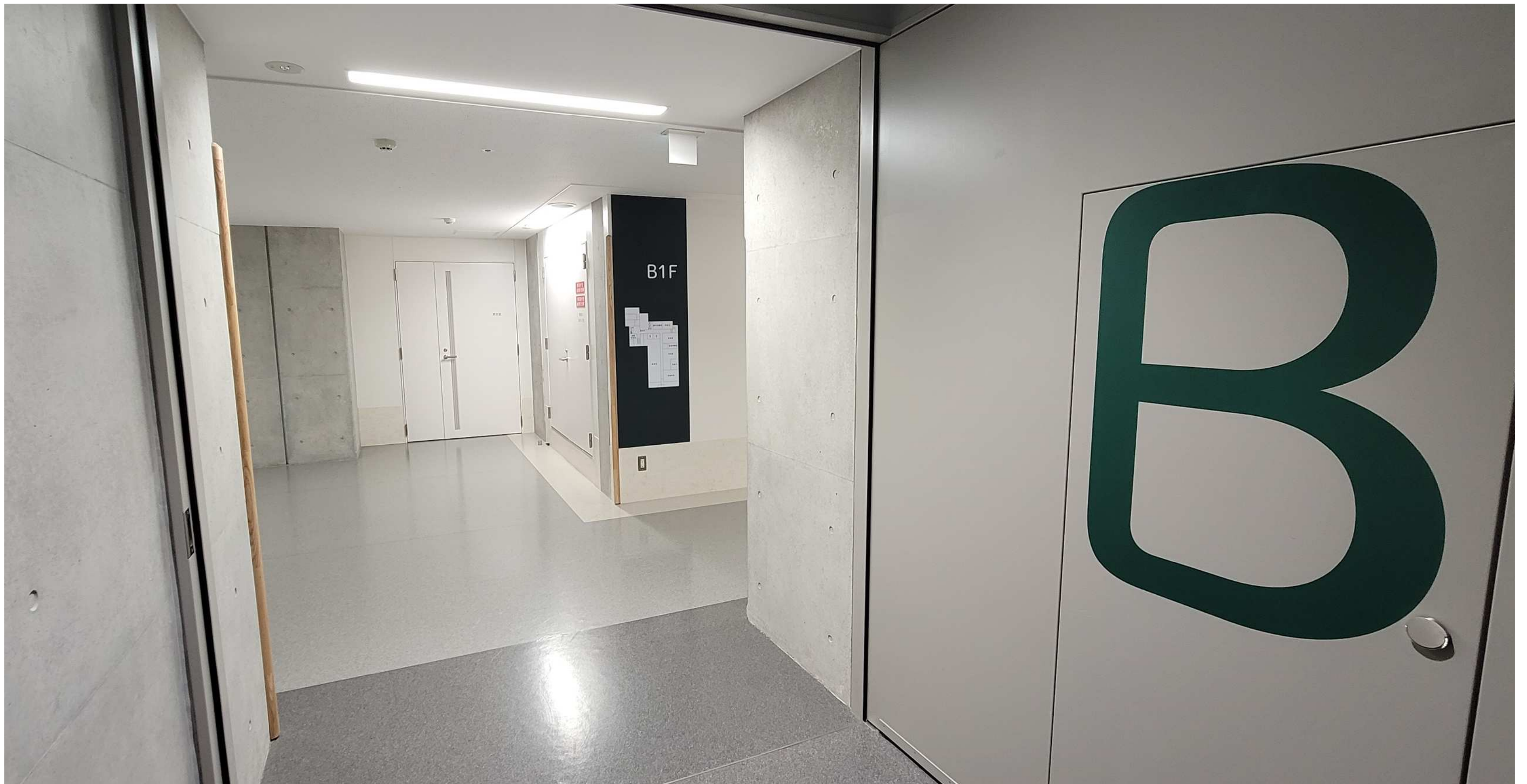
**こちらが理科室です。
観察や実習ができるよう、北側にテラスが隣接しています。**



3年生になると、この理科室を授業で使う機会が増えてきます。



再び階段に戻り、地階まで降りて行きます。



地階まで降りてきました。ここを右方向に曲がります。



**右側のトイレは、お帰り前にご利用できる最後のトイレとなります。
逆戻りはできませんので、ご注意ください。**



トイレ先のT字路を曲がると、手前に音楽室があり、廊下が奥に続きます。



**音楽室での授業の様子です。
音楽の時間にも、電子黒板は活躍しています。**



**音楽室の隣に位置する、交流室です。
1学年72人が着席でき、多目的に使える部屋です。**



交流室の一角に設けられた和室は、音楽の授業での琴の演奏や、稲花タイムでの茶道体験などの機会に使用されています。



交流室は、放課後はアフタースクールのメインルームとなり、
一層にぎやかになります。



**交流室の廊下の反対側には給食室があります。
大きな窓から、調理の様子を伺うことができます。**



**交流室と隣の家庭科室は、扉1枚でつながっており、
一体的に使用できるようになっています。**



**低学年も高学年も、調理がしやすいように、
高さが調整できるテーブルを採用しています。**



家庭科室のすぐ隣にある、給食用の食材搬入口です。
通常、児童がここから出入りすることはありませんが・・・。



**見学会当日は、ここから校舎の外に出る順路となります。
外に出ると、北門が正面に見えます。**



**北門の前には、左手に小さな坂道があります。
坂を上がると、グラウンドに出ることができます。**



坂の途中にレモンの木が1本
植えられていることから、
この坂は「レモン坂」と呼ばれています。

レモンの木
レモンは1月に開花し、5月に実を収穫します。
実を収穫した後は、果皮を剥き、果汁を絞ります。
また、果皮を乾燥させて、精油を抽出することもできます。
この木は、サッポロホールディングス株式会社の
社員が、子どもたちのために、ここに植えました。

2018年7月
サッポロホールディングス株式会社



**坂を上がった先は、人工芝のメイングラウンドです。
照り返しが少なく、温度が上がりにくい素材を使用しています。**



**トラックの1周は、いちばん内側のコースが150m。
50m走、80m走のラインのほか、
サッカー、ポートボールのラインも引かれています。**

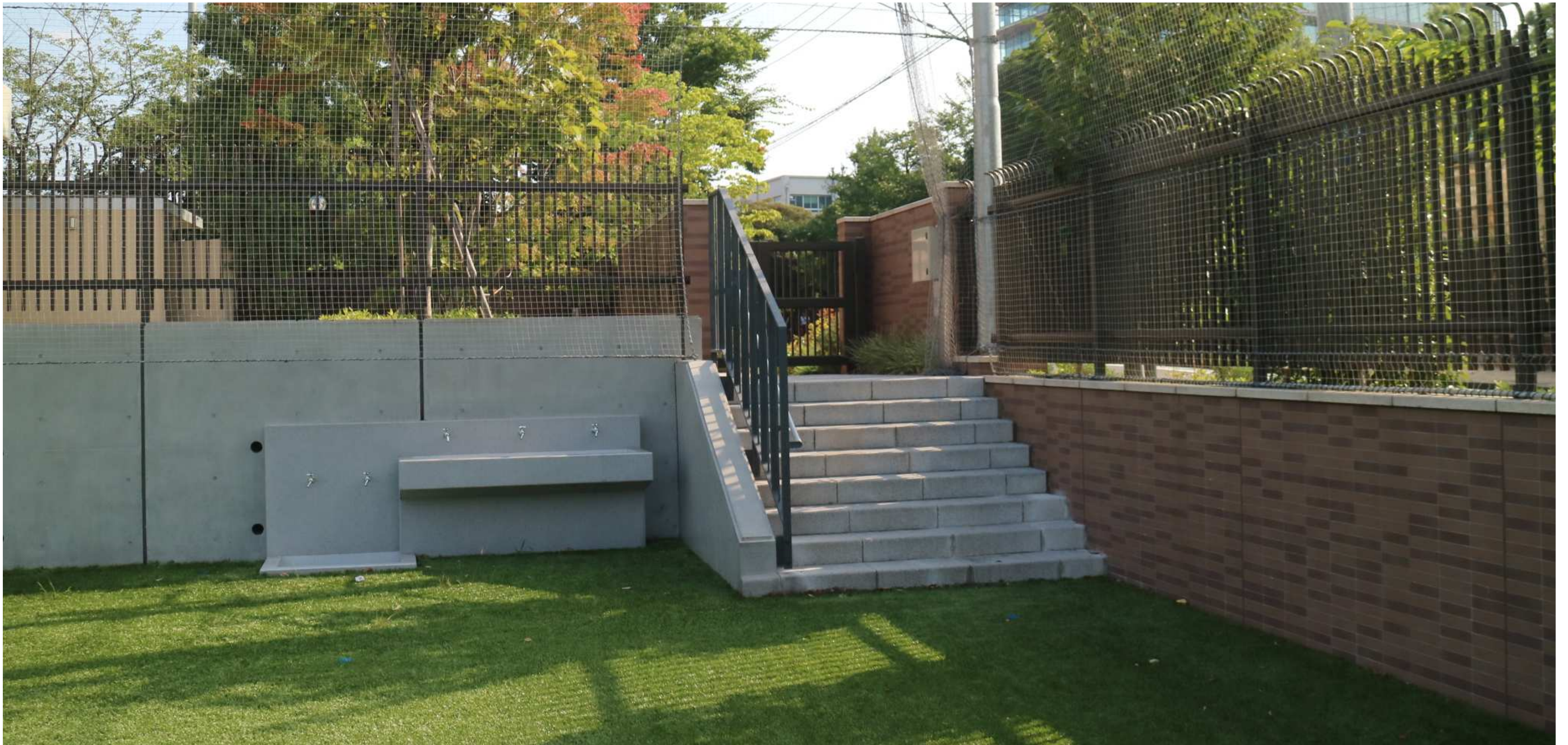


人工芝は服や靴も汚れにくいため、
休み時間は校内と同じ靴でグラウンドに出て、
のびのびと遊ぶことができます。

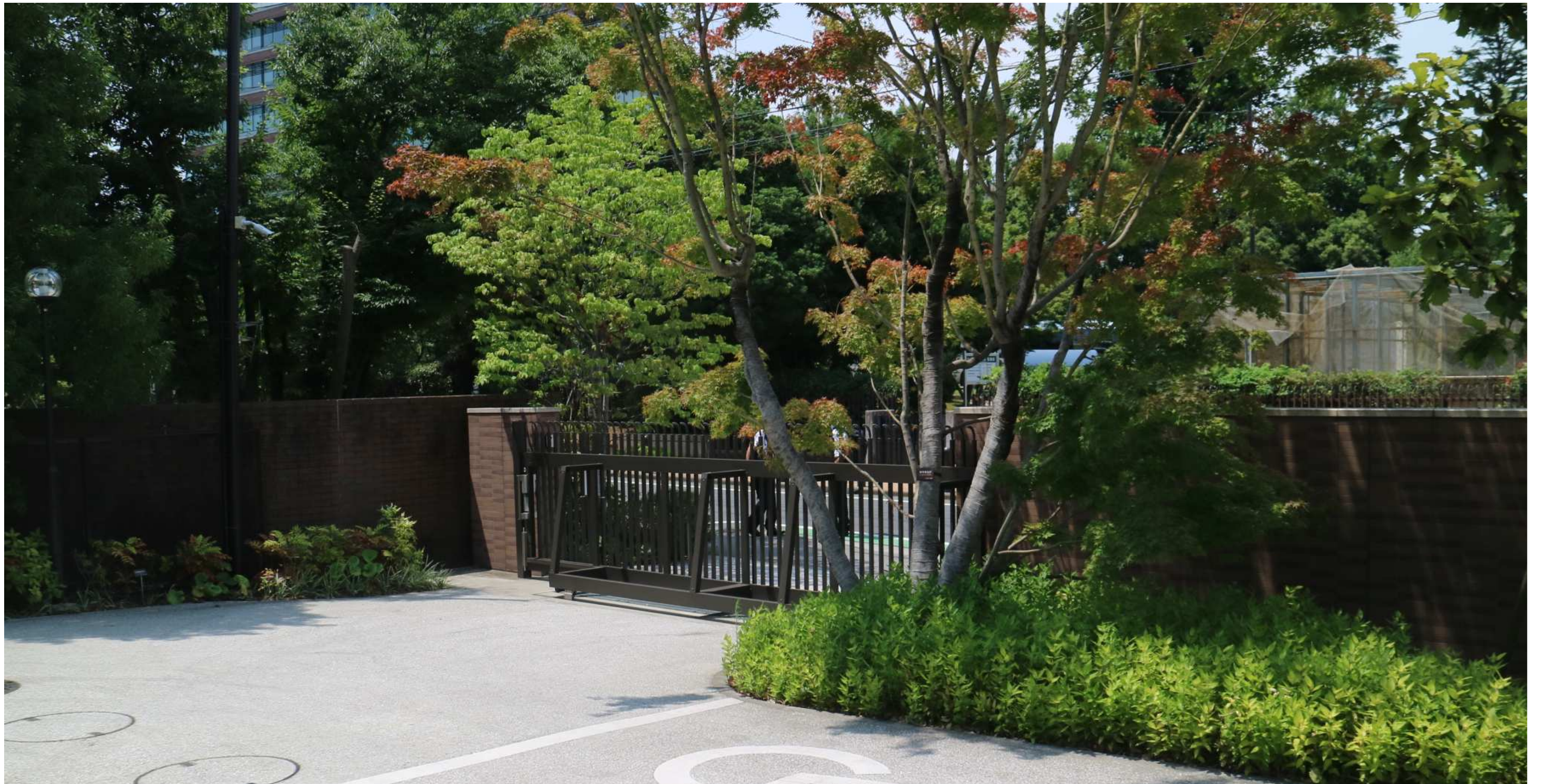


グラウンドの北西の隅には、走り幅跳び用の砂場があります。

(写真は1年生の図工科にて、いろいろな物の感触を体験する授業の様子)



**グラウンドの南西の端に、小さな階段があります。
こちらの階段を上ると・・・。**



最初に入ってきた、正門の前に戻ることができます。

以上、東京農業大学稲花小学校の
校内のご紹介でした。

当日は、お気をつけてお越しく下さい。
教職員一同、お待ちしております。

東京農業大学稲花小学校